

日本宗教学会

第47回学術大会

期 日 1988年9月14日(水)～16日(金)

会 場 佛 教 大 学

京都市北区紫野北花ノ坊町96

— お知らせ・お願い —

1. 受付で名札と発表要旨集をお受け取りください。
2. 受付には学会本部が出張しております。学会未納の方はお納め下さい。
3. 研究発表者は、なるべく発表の2番前には、その部会会場へおいで下さい。
4. 研究発表は1人15分、質問時間は5分となっています。発表時間の厳守をお願い致します。
5. 研究発表のレジュメ（1,600字程度）を部会責任者にお渡し下さい。
（9月16日午後4時締め切り。以後は一切受け付けませんので御注意下さい。）
6. 荷物は所定のクロークを御利用下さい。
7. 学会会場の5号館地下の食堂が営業しておりますので、昼食等に御利用下さい。
8. 鷹陵館ロビーの喫茶店が営業しておりますので、御利用下さい。
9. 学内での駐車は一切禁止されておりますので、自家用車での来学は御遠慮下さい。
10. 9月15日、16日の大会本部への電話連絡は次の番号を御使用下さい。

TEL (075)491—2141 内線 437

受付	正面玄関
会員休憩所	5号館301教室、地階食堂
クローク	5号館203教室
部会運営本部	5号館1階事務室
大会本部	1号館講師控室（受付横）

日 程

9月14日(水)

学会賞選考委員会	(鷹陵館第1会議室)	12:00~14:00
「宗教研究」編集委員会	(鷹陵館第1会議室)	16:00~17:00
公開講演会	(5号館101教室)	15:00~17:00
神と悪魔		
—ブッダとの対話—		
理事 会	佛敎大学教授 雲井昭善	17:30~19:30

9月15日(木)

開 会 式	(5号館1階101教室)	9:30~10:00
研 究 発 表	(5号館各教室)	10:00~12:20
評 議 員 会	(5号館1階101教室)	12:30~13:30
研 究 発 表	(5号館各教室)	13:30~17:10

9月16日(金)

研 究 発 表	(5号館各教室)	9:30~12:00
「宗教研究」編集委員会	(鷹陵館第1会議室)	12:00~13:30
研 究 発 表	(5号館各教室)	13:30~15:50
総会・閉会式	(5号館1階101教室)	15:50~17:00
懇 親 会	(二条城前・京都国際ホテル)	18:00~20:00

※各会場については、巻末の案内図を御覧下さい。

※懇親会場へは、本学のバスにてお送り致しますので、鷹陵館前に

17:10までに御集合下さい。

第 1 部 会 (5 号館201教室)

㊦印はカセット使用

㊧印はスライド使用

9月15日(木) 午前(10:00~12:20)

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| 1. 宗教とセクシュアリティ | 大 越 愛 子 (京 産 大) |
| 2. 荒野のもつ宗教的意味 | 市 川 裕 (筑 波 大) |
| 3. 「時間」についての一考察 II 一日常性と非日常性一 | 木 村 登 次 (南 山 大) |
| 4. 文化接触における他者の意味について一初期アメリカを例として一 | 木 村 武 史 (筑 波 大) |
| 5. 諸宗教の出会いと宗教学 | 管 井 大 果 (甲 子 園 短 期 大) |
| 6. アーケタイプとウアフォーム, その宗教学的ロマンティズム | 小 野 泰 博 (図 書 館 情 報 大) |
| 7. 特殊と普遍一ベイトソンからエコに至る宗教論 | 井 門 富 二 夫 (桜 美 林 大) |

9月15日(木) 午後(13:30~16:50)

- | | |
|----------------------------------|-----------------|
| 8. デュルケームにおける道徳と宗教について(4) | 山 崎 亮 (東 北 大) |
| 9. フランス宗教社会学派の方法 | 竹 沢 尚 一 郎 (九 大) |
| 10. マックス・ウェーバーの『バガバッド・ギター』論 | 前 川 輝 光 (東 大) |
| 11. M. ウェーバー的方法の偏向 | 山 折 哲 雄 (歴 博) |
| 12. 19C末~20C初の英・独社会における「聖」の生成 | 藤 原 聖 子 (東 大) |
| 13. R. オットーにおける「敬虔」をめぐる | 加 藤 浩 二 (東 北 大) |
| 14. R. オットーとP. ティリッヒ『聖なるもの』をめぐる一 | 藤 本 浄 彦 (仏 教 大) |
| 15. エリアーデ宗教学における「聖」について | 吉 永 進 一 (京 大) |
| 16. 岸本英夫「宗教学」の本質 | 中 本 光 省 |
| 17. 今岡信一良の宇宙的共同社会 | 玉 城 康 四 郎 (日 大) |

9月16日(金) 午前(9:30~11:50)

- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| 18. 「私は他者である」 | 土 井 道 子 |
| 19. フロイトにおける理性と非理性 | 安 藤 泰 至 (米 子 高 専) |
| 20. J. エドワーズにおける宗教的感情 | 茂 義 樹 (梅 花 短 大) |
| 21. D. ムーティとリヴァイヴァリズム | 小 松 加 代 子 (筑 波 大) |
| 22. L. ソンディとモルフロジー | 磯 田 富 夫 (大 正 大) |
| 23. 儀礼の音の諸相一アフロ・カリビアン・カルトを事例として一 | 長 嶋 佳 子 (大 阪 学 院 大)㊦ |
| 24. 「宗教多元論」再考 | 間 瀬 啓 充 (慶 大) |

9月16日(金) 午後(13:30~15:30)

- | | |
|-------------------|-------------------------------|
| 25. 「共有された時」の思想 | 島 田 裕 巳 (放 送 教 育 開 発 セ ン タ ー) |
| 26. 宗教における人格と法 | 小 田 淑 子 (東 大) |
| 27. ハッタライトに関する一考察 | 坂 井 信 生 (九 大)㊧ |
| 28. 信仰の「深みの次元」と理解 | 澤 井 義 次 (天 理 大) |
| 29. 比較宗教社会学研究 (1) | 千 明 東 道 |
| 30. 宗教ブームと世俗化論 | 池 田 昭 (中 京 大) |

第 2 部 会 (5 号 館 202 教 室)

9 月 15 日 (木) 午 前 (10 : 00 ~ 12 : 20)

- | | | |
|--|-----------------------|--|
| 1. B. パスカルの la machine もしくは l'automate をめぐって | 林 伸一郎 (京 大) | |
| 2. パスカルの回心論—「罪びとの回心について」の解釈 | 宮 永 泉 (大 谷 大) | |
| 3. ベルクソンにおける〔身体〕について | 岡 部 英 男 (早 大) | |
| 4. メーヌ・ド・ピランにおける原初的事実と宗教 | 岩 田 文 昭 (京 大) | |
| 5. ガブリエル・マルセルにおける「不安」と「苦悩」 | 小 林 敬 (日 本 学 術 振 興 会) | |
| 6. 神秘思想に於ける罪の問題 | 吉 田 喜 久 子 (東 洋 大) | |
| 7. 「息の根」考 | 松 山 康 國 (関 学 大) | |

9 月 15 日 (木) 午 後 (13 : 30 ~ 16 : 50)

- | | | |
|----------------------------------|-------------------|--|
| 8. エックハルトの「魂の火花」について | 松 井 吉 康 (京 大) | |
| 9. エックハルトにおける esse と Sein の位相 | 田 島 照 久 (早 大) | |
| 10. V.Weigel と Weigelianismus | 深 澤 英 隆 (東 大) | |
| 11. スピノザにおける創造の問題 | 辻 智 之 (関 学 大) | |
| 12. ライプニッツにおける点〔le point〕の概念について | 山 下 豊 (関 学 大) | |
| 13. シェリングに於ける「非人格的なもの」について | 森 哲 郎 (京 大) | |
| 14. 後期シェリングとベーム | 岡 村 康 夫 (舞 鶴 高 専) | |
| 15. 後期シェリングにおける神の認識の問題再考 | 諸 岡 道 比 古 (弘 前 大) | |
| 16. カントにおける超越論的哲学と形而上学 | 仲 原 孝 (京 大) | |
| 17. I. カント『宗教論』における自由論 | 保 呂 篤 彦 (筑 波 大) | |

9 月 16 日 (金) 午 前 (9 : 30 ~ 11 : 50)

- | | | |
|-----------------------------------|-------------------|--|
| 18. 『宗教論』に見られる若干の F.H. ヤコービの思想 | 長 江 弘 晃 (日 大) | |
| 19. ヘーゲルのヤコービ批判の意味 | 中 島 秀 憲 (九 産 大) | |
| 20. ヘーゲル『精神現象学』における「欲望」について | 八 田 隆 司 (明 大) | |
| 21. 宗教哲学的ヘーゲル試論 | 水 見 潔 (奈 良 県 短 大) | |
| 22. 中・後期シェラーにおける神と人間について | 浅 野 博 之 (東 北 大) | |
| 23. シェラー—宗教哲学の基本構想—宗教の根拠づけと本質現象学 | 宮 崎 真 矢 (東 北 大) | |
| 24. 多元的信仰の機制—M. シェラーの価値論との関連において— | 華 園 聰 麿 (東 北 大) | |

9 月 16 日 (金) 午 後 (13 : 30 ~ 15 : 30)

- | | | |
|----------------------------------|---------------------|--|
| 25. ニーチェの宗教哲学 (その 1) — 宗教と解釈 — | 中 路 正 恒 (郡 山 女 大) | |
| 26. ヘルダーリンの後期詩に見られる宗教的世界 | 長 井 英 子 (関 東 学 院 大) | |
| 27. ハイデッガーの「時」について | 谷 口 静 浩 | |
| 28. ハイデッガーに於ける近世主体性から理の動性へ | 石 倉 順 一 (京 大) | |
| 29. ハイデッガーにおける「故郷 (Heimat)」の問題 | 神 尾 和 寿 (花 大) | |
| 30. 「存在と時間」における世界の問題 | 山 下 一 道 (芦 大) | |

第 3 部 会 (5 号 館 204 教 室)

9 月 15 日 (休) 午 前 (10 : 00 ~ 12 : 20)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. 東方正教会の死者の儀礼「パニヒダ」について | 尾 田 泰 彦 (大 正 大) |
| 2. 神の血, 女の血—カトリックにおける母性— | 寺 戸 淳 子 (東 大) |
| 3. マリア年に当たっての教皇回勅とフェミニスト神学 | 岡 野 治 子 (実 践 女 大) |
| 4. アドニラム・ジャドソンのヒルマ語訳聖書について | 平 木 光 二 (東 方 研 究 会) |
| 5. 聖書の贖罪精神とキリストの本質—新英語訳聖書の翻訳を中心に— | 木 原 範 恭 (近 畿 大) |
| 6. 新約聖書研究と知識社会学 | 土 屋 博 (北 大) |
| 7. 旧約聖書における遺体の処置 (祖先崇拜との関連の考察) | オフナー・クラーク |

9 月 15 日 (休) 午 後 (13 : 30 ~ 16 : 50)

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 8. 『ヨハネの黙示録』における手紙の問題—プロローグ, エピローグ— | 朝 井 かおる (北 大) |
| 9. ポール・リクールのテキスト理論とヨハネ福音書解釈 | 佐々木 啓 (北 大) |
| 10. 十字架の聖ヨハネにおける「闇夜」 | 沢 田 愛 子 (北 大 医 技 短 大) |
| 11. 十字架の聖ヨハネにおける「魂の受動的闇夜」について | 鶴 岡 賀 雄 (工 学 院 大) |
| 12. アンセルムスにおける Simplicitas について | 矢 内 義 顕 (神 田 外 大) |
| 13. 「クール・デウス・ホモ」と「人間の救済に関する瞑想」 | 古 田 暁 (神 田 外 大) |
| 14. ルターとケルケゴールにおける「神の前に」概念の理解 | 早乙女 禮 子 (大 阪 体 育 大) |
| 15. ケルケゴールにおける殉教者理念の展開 | 西 倉 直 樹 (東 北 大) |
| 16. パルトにおける Extra Calvinisticum をめぐって | 佐々木 徹 (東 北 大) |
| 17. 神の死と復活 | 小 川 圭 治 (筑 波 大) |

9 月 16 日 (金) 午 前 (9 : 30 ~ 11 : 30)

- | | |
|------------------------------------|-------------------|
| 18. オリゲネスの「苦難の僕」理解 | 久 山 道 彦 (京 大) |
| 19. オリゲネス『原理論』における聖書解釈学の原理としての霊と探究 | 水 垣 渉 (京 大) |
| 20. 宗教における闇の理解—フレデギススの聖書解釈— | 山 崎 裕 子 (聖 心 女 大) |
| 21. キリスト教神学における「ロゴスとミュートス」の問題 | 掛 川 富 康 (明 学 大) |
| 22. シーア・イスラームにおけるイマーム論の転変 | 鎌 田 繁 (東大東洋文化研究所) |
| 23. アブドゥル・ジャッパールの人間論 | 塩 尻 和 子 (東 大) |

9 月 16 日 (金) 午 後 (13 : 30 ~ 15 : 10)

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| 24. P. ティリッヒにおける神の問題 | 芦 名 定 道 (京 大) |
| 25. ティリッヒ『組織神学』(2)—呼応の方法について— | 日下部 哲 夫 |
| 26. ティリッヒの神学的循環と相関論 | 大 島 末 男 (広 島 工 業 大) |
| 27. パンネンベルクの社会倫理への一提言—秩序から変革へ— | 浅 見 洋 (石 川 工 高 専) |
| 28. ホワイトヘッドに於ける有限と無限 | 山 本 和 人 (京 大) |

第 4 部 会 (5 号館205教室)

9月15日(木) 午前(10:00~12:20)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 己事究明と全託 | 櫻 木 茂 (久留米工業大) |
| 2. キリスト信仰と禪とのある共通性 | 名木田 薫 (岡山理科大) |
| 3. 折口信夫の呪術論—その研究史的意義— | 津 城 寛 文 (東 大) |
| 4. 稲垣足穂の宇宙論—弥勒について— | 椿 實 (江戸川区教育研) |
| 5. 寺田福寿の勅語衍義書をめぐって | 三 宅 守 常 (日 大) |
| 6. 矢吹慶輝の宗教教育論 | 家 塚 高 志 (東京工高専) |
| 7. 養鷗徹定の排耶論—仏基の対論(3)— | 芦 川 博 通 (淑徳短大) |

9月15日(木) 午後(13:30~16:50)

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 8. 平安時代初期における宗教と死 | 藤 原 正 己 (真宗本願寺宗学院) |
| 9. 源氏物語にみられる神秘感 | 高 木 きよ子 (東 洋 大) |
| 10. 『日本霊異記』にみられる「風流」について | 奈 良 弘 元 (日 本 大) |
| 11. 芭蕉の宗教的体験に対する一考察 | 安 藤 真 (駒 沢 大) |
| 12. 霊性—日本的知の創造性— | 浮 田 雄 一 (慶 大) |
| 13. 鈴木大拙論—「大智と大悲」について | 和 田 真 二 |
| 14. 西田幾多郎における哲学と宗教との合一 | 沼 田 滋 夫 |
| 15. 初期西田哲学における「絶対意志」の概念 | 小 坂 国 継 (日 大) |
| 16. 西田哲学における「自覚」と「絶対自由の意志」 | 岡 廣 二 (十文字学園) |
| 17. 滝沢哲学における自己理解 | 柴 田 秀 (千葉商科大) |

9月16日(金) 午前(9:30~11:50)

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| 18. カクレキリシタンにおける性のタブー | 宮 崎 賢太郎 (長崎純心女短大) |
| 19. 内村鑑三の「信仰」と清沢満之の「信仰」 | 加 藤 智 見 (東京工芸大) |
| 20. ウェスレーのキリスト論—大祭司キリスト— | 野 村 誠 (共愛学園女短大) |
| 21. ウィリアム・ローにおける 'Nature' の問題 | 門 脇 由紀子 (山 形 大) |
| 22. ロックと「神の存在」 | 酒 井 サヤカ (日 歯 大) |
| 23. 19世紀ロシアの宗教哲学者B. ソロヴィヨフの青年期の思想 | 谷 寿 美 (横 国 大) |
| 24. プーバーにおける「孤独」について | 谷 口 龍 男 (早 大) |

9月16日(金) 午後(13:30~15:10)

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 25. ミトラス教密儀における軍事的要素の意味 | 小 川 英 雄 (慶 大) |
| 26. 紀元一世紀ユダヤ独立運動史におけるアグリッパI世の役割 | 新 井 佑 造 (京都芸術短大) |
| 27. ギリシャ壺絵におけるディオニュソス神の正面性について | 松 村 一 男 (和 光 大) |
| 28. ソクラテスに顕われた、ダイモーンの声 | 保 坂 幸 博 (東 海 大) |
| 29. 帝政期ストア派と自殺—セネカの場合— | 兼 利 琢 也 (筑 波 大) |

第 5 部 会 (5 号 館 302 教 室)

9 月 15 日 (休) 午 前 (10 : 00 ~ 12 : 20)

- | | |
|---|---------------------------|
| 1. 仏教論理学派の聖典観 | 大 前 太 (九 大) |
| 2. 縁起無自性 | 木 下 富 夫 (岡 山 理 大 付 属 高) |
| 3. ダルマキールティの聖典論をめぐって | 木 村 俊 彦 (東 海 女 大) |
| 4. Buddhapālita-mūlamadhyamakavṛtti に関する諸問題 | 三 谷 真 澄 (龍 大) |
| 5. プラバーカラの聖典論の一面 | 吉 水 清 孝 (東 大) |
| 6. rtog pa (概念知) の区分について | 高 田 順 仁 (大 谷 大) |
| 7. 世尊の規範性論証における〈慈悲の修習〉の意義 | 生 井 智 紹 (高 野 山 大) |

9 月 15 日 (休) 午 後 (13 : 30 ~ 16 : 50)

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------|
| 8. パーリ注釈文献中に見られる jhāna の語義解釈について | 古 田 彦 太 郎 (仏 教 大) |
| 9. 南方仏教における弥勒信仰 | 柏 原 信 行 (龍 大) |
| 10. ワトートレ・スツッパに付属せる仏足跡の研究 | 斎 藤 彦 松 (梵 字 資 料 研) |
| 11. 西双版纳の仏教事情 | 宇 治 谷 顕 (名 古 屋 音 大) |
| 12. ラリタヴィスタラの付加増広部分における阿舎の借用について | 岡 野 潔 (東 北 大) |
| 13. 『法蘊論』雑事品の性格 | 西 村 実 則 (大 正 大) |
| 14. 俱舎論における“ity Ācāryāh” | 田 崎 国 彦 (東 洋 大) |
| 15. 根本説一切有部律健度部の研究 | 山 極 伸 之 (仏 教 大) |
| 16. Bodhisattvabhūmi —戒品における懺悔について— | 齊 藤 舜 健 (仏 教 大) |
| 17. 智度論における維摩経 | 橋 本 芳 契 (神 井 県 短 大) |

9 月 16 日 (金) 午 前 (9 : 30 ~ 11 : 50)

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| 18. 『阿弥陀経』の成立について | 小 林 良 信 (大 正 大) |
| 19. 『十住毘婆沙論』と般若経 | 八 力 広 喜 (北 海 道 武 蔵 女 短 大) |
| 20. 『大明度経』の若干の訳語について | 勝 崎 裕 彦 (大 正 大) |
| 21. 『成業論』における第七識の意味 | 伊 藤 博 志 (仏 教 大) |
| 22. 『中辺分別論』の識説について | 阿 理 生 |
| 23. 瑜伽行派の理観について | 毛 利 俊 英 (龍 大) |
| 24. 諦について | 高 崎 正 芳 (花 大) |

9 月 16 日 (金) 午 後 (13 : 30 ~ 15 : 30)

- | | |
|---------------------------------------|---------------------|
| 25. 初期ジャイナ教の業—感官との関係— | 煎 本 信 行 (大 谷 大) |
| 26. Antar-yāmin と絶体無—インド思想と西田哲学 (2) | 沢 井 高 範 |
| 27. 楽 (sukha) の二義性とニヤヤ学派の解脱観 | 丸 井 浩 (東 方 研 究 会) |
| 28. 原始仏教における解脱の現存在分析 | 竹 原 弘 (徳 山 大) |
| 29. 原始仏教に於ける有 (bhava) の語義に就いて | 服 部 弘 瑞 |
| 30. 女性の菩薩 | 杉 本 卓 州 (金 沢 大) |

第 6 部 会 (5 号館303教室)

9月15日(木) 午前(10:00~12:00)

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1. 集会 (melā) と秘密の手印 (chomā) | 島 田 茂 樹 (東 方 研 究 会) |
| 2. 『宝楼閣経』類本の検討 | 福 田 亮 成 (大 正 大) |
| 3. ネワール仏教の密教儀礼グルマングラ・プージャー | 島 岩 (愛 知 学 院 大)② |
| 4. ネパール・タマン族の Jhankrism | 高 橋 涉 (宮 城 学 院 女 大) |
| 5. トランス導入装置としてのナーガ・マングラ | 河 野 亮 山 (大 正 大) |
| 6. カピールの称名について | 小 林 圓 照 (花 大) |

9月15日(木) 午後(13:30~16:50)

- | | |
|----------------------------------|-------------------------|
| 7. 現代インドにおけるヒンドゥ教 | 葛 西 實 (I C U) |
| 8. プロアスター教徒パーシーにおける財産相続について | 中別府 温 和 (西 南 女 学 院 短 大) |
| 9. シク教における神の観念について | 保 坂 俊 司 (東 方 研 究 会) |
| 10. 仏教の論理と宗教 | J・V・ブラフト (南 山 大) |
| 11. 后羿に関する叙事詩的考察 | 森 雅 子 (慶 大) |
| 12. 中國古代に於ける「稷神」について | 栗 原 圭 介 (大 東 文 化 大) |
| 13. 浄土思想における見仏の意味—『観無量寿経』を手掛りとして | 陳 敏 齡 (筑 波 大) |
| 14. 『観無量寿経』の視覚的効能について—一仏の仏像化現象— | 田 中 かの子 (駒 大) |
| 15. 『釋浄土群疑論探要記』の引用経論とその著者について | 村 上 真 瑞 (仏 教 大) |
| 16. 桑誉書写本『釈浄土群疑論』について | 金 子 寛 哉 (大 正 大) |

9月16日(金) 午前(9:30~11:50)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 17. 十玄縁起の所依体事としての十義門 | 池 要 (龍 大) |
| 18. 『華嚴一乗開心論』における空海説の依用について | 高 原 淳 尚 (駒 大) |
| 19. 南宋禅と居士仏教(1) —圓悟派下— | 長谷川 昌 弘 (正 眼 短 大) |
| 20. 『提謂波利経』と五行思想 | 春 本 秀 雄 (大 正 大) |
| 21. 僧肇における「仏教」(空思想) の理解 | 谷 川 理 宣 (九 州 龍 谷 短 大) |
| 22. 永嘉集の思想について (その二) | 風 間 敏 夫 (法 大) |
| 23. 地論宗における依持と縁起の概念について | 織 田 顕 祐 (大 谷 大) |

9月16日(金) 午後(13:30~15:30)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 24. 『六祖壇経』の五本、七冊について (四) | 長 嶋 孝 行 (国 立 国 会 図 書 館) |
| 25. 中国における孟蘭盆会の始めについて | 諏 訪 義 純 (愛 知 学 院 大) |
| 26. 義浄撰大周西域行人伝について | 落 合 俊 典 (華 頂 短 大) |
| 27. 不空三蔵と文殊信仰について | 浅 田 公 子 (高 野 山 大) |
| 28. 『醒世恒言』の宗教的一考察 | 竹 内 肇 (茨 城 女 短 大) |
| 29. 『仏教人類学』とテキスト | 片 山 一 良 (駒 大) |

第 7 部 会 (5 号館304教室)

9月15日(木) 午前(10:00~12:00)

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1. 古代大嘗祭における二・三の儀礼上の変遷について | 高 森 明 勅 (国 學 院 大) |
| 2. 諏訪上社中世祭祀再考—王権論的視点から | 島 田 潔 (国 學 院 大) |
| 3. ホルトムの神道観について | 大 垣 豊 隆 (神 宮 研 修 所) |
| 4. 中世伊勢神宮遷宮に関する一考察 | 白 山 芳 太 郎 (皇 学 館 大) |
| 5. 吉田神道の研究—宗源神道行事次第の成立について | 出 村 龍 日 |
| 6. 古墳祭祀から律令祭祀へ | 三 橋 正 (大 正 大) |

9月15日(木) 午後(13:30~17:10)

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| 7. 日本唯識思想の研究—五重唯識説の展開 (2)— | 後 藤 康 夫 (龍 大) |
| 8. 円珍の法華論記と大日經指帰 | 河 村 孝 照 (東 洋 大) |
| 9. 高野山正御影供の御衣献備 | 日 野 西 眞 定 (高 野 山 大) |
| 10. 責任の場—親鸞と盤珪に学ぶ— | 田 原 圭 介 |
| 11. 源信像の変遷 | 宮 敏 子 (東 北 生 活 文 化 大) |
| 12. 「法然上人御遺跡」に関する一考察 | 山 本 博 子 (仏 教 大) |
| 13. 法然の念声—一論—とくに成立背景について— | 永 井 隆 正 (知 恩 院 浄 土 宗 学 研) |
| 14. 法然における逆・誘の救いの問題 | 浅 井 成 海 (龍 大) |
| 15. 法然門下のスキャンダル | 林 淳 (愛 知 学 院 大) |
| 16. 親鸞における懺悔と悲歎述懐—田辺哲学に対比して— | 田 辺 正 英 (富 山 医 科 薬 科 大) |
| 17. 六字名号の象徴性について | 徳 永 道 雄 (京 都 女 大) |

9月16日(金) 午前(9:30~11:50)

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 18. 親鸞に於ける「愚」の問題について | 門 脇 健 (福 井 高 専) |
| 19. 親鸞における〈聖道の慈悲〉と〈浄土の慈悲〉 | 菊 藤 明 道 (京 都 短 大) |
| 20. 親鸞の往還二種回向に関する一考察 | 磯 弘 信 (大 谷 大) |
| 21. 『教行信証』真仏土巻における法身の位置づけについて | 遠 山 諦 虔 (日 大) |
| 22. 至誠心の構造 (2) | 宮 田 正 深 (同 朋 大) |
| 23. 或る念仏者の生涯 | 大 屋 憲 一 (大 谷 大) |
| 24. 本山義と当麻曼陀羅 | 伊 藤 正 順 (龍 大) |

9月16日(金) 午後(13:30~15:30)

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------|
| 25. 「今昔物語」にみえる仏教者の発心観について | 青 竜 宗 二 (駒 沢 大) |
| 26. 「御伝鈔」にみる布教の特色 | 新 保 哲 (都 立 農 産 高) |
| 27. 浄土教徒の社会的実践 (2) 真宗における信仰と教学の三つのタイプ | 菱 木 政 晴 (西 山 短 大) |
| 28. 一遍聖の浄土観 | 石 岡 信 一 (時 宗 教 学 研 究 所) |
| 29. 「一遍上人参禅説」の再検討 | 岡 本 貞 雄 (正 眼 短 大) |
| 30. 資料検討高範撰『成唯識論訓読記』と『成唯識論口傳鈔』の特異性 | 城 福 雅 伸 (龍 大) |

第 8 部 会 (5 号 館 401 教 室)

9 月 15 日 (木) 午 前 (10 : 00 ~ 12 : 00)

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| 1. 日蓮における宗教的罪の問題—「不孝」の語を視点として— | 原 慎 定 (立 正 大) |
| 2. 日蓮における八幡信仰について | 笠 井 正 弘 (西 日 本 短 大) |
| 3. 日蓮遺文不敬事件について | 小 野 文 瑠 (立 正 大) |
| 4. 日蓮真筆消息の形態について | 寺 尾 英 智 (立 正 大) |
| 5. 金網集の検討 | 中 條 暁 秀 (身 延 山 短 大) |
| 6. 中世日蓮教団における末寺支配の一形態 | 糸 久 宝 賢 (立 正 大) |

9 月 15 日 (木) 午 後 (13 : 30 ~ 17 : 10)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 7. 中川日史の「立正運動」 | 中 濃 教 篤 (日蓮宗現代宗教研究所) |
| 8. 日蓮の浄土教批判と『一乗要決』の関連 | 関 戸 堯 海 (立 正 大) |
| 9. 『正法眼蔵』にみられる自他関係について | 岡 島 秀 隆 (愛 知 学 院 大) |
| 10. 『正法眼蔵書』における尽大地について | 粟 谷 良 道 (曹洞宗宗学研究所) |
| 11. 道元の後期思想 | 松 岡 由 香 子 (愛 知 大) |
| 12. 「赴粥飯法」の一考察 | 神 戸 信 寅 (愛 知 学 院 短 大) |
| 13. コウニンとグニン | 鏡 本 光 信 (中国新聞文化センター) |
| 14. 圓悟克勤における悟りの過程について | 岩 村 康 夫 (正 眼 短 大) |
| 15. 禅宗庭園と禅思想 | 金 子 和 弘 (曹洞宗宗学研究所) |
| 16. 仏教における人間解放 (3) | ルーベン・アビト (上 智 大) |
| 17. 仏教における人間の研究—危機について— | 宮 崎 英 行 (曹洞宗教化研修所) |

9 月 16 日 (金) 午 前 (9 : 30 ~ 11 : 50)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 18. みず子供養にみる靈魂の問題 | 神 原 和 子 (東 京 工 芸 大) |
| 19. みず子供養にみる現世利益の問題 | 大 西 昇 (東 京 工 芸 大) |
| 20. みず子供養にみる宗教性の問題 | 岩 本 一 夫 (東 京 工 芸 大) |
| 21. 花祭の飾りと霜月祭について | 春 日 井 真 英 (東 海 学 園 女 短 大) ② |
| 22. 祭研究におけるデータベースと画像処理のシステム構築 | 宇 野 正 人 (江 戸 川 女 短 大) |
| 23. 近代日本の民衆宗教における宗教的シンボリズムについて | 宮 本 要 太 郎 (筑 波 大) |
| 24. 近世における仏教の民衆化 (その一) | 早 島 鏡 正 (大倉精神文化研究所) |

9 月 16 日 (金) 午 後 (13 : 30 ~ 15 : 30)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 25. 禅宗寺院の祈禱と講元について | 渡 部 正 英 (駒 大) |
| 26. 道了尊と大雄山最乗寺に関する歴史的一考察 | 熊 本 英 人 (駒 大) |
| 27. スティグマと逸脱 (慶長期の身体観) | 丸 茂 湛 祥 (立 正 大) |
| 28. 我が国に於ける血盆経信仰の史料的研究 | 松 岡 秀 明 (東 大) |
| 29. 翁童論再考—現代の老人像— | 鎌 田 東 二 (国 学 院 大) |
| 30. 密教と禁忌 (タブー) | 月 光 善 弘 (山 形 女 短 大) |

第 9 部 会 (5 号 館 402 教 室)

9 月 15 日 (休) 午 前 (10 : 00 ~ 12 : 00)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. ほんみち以降の天理教系教団について | 弓 山 達 也 (大 正 大) |
| 2. 女性教祖の研究 | 薄 井 篤 子 (九 州 大) |
| 3. 初期禊教の展開 | 荻 原 稔 (都立府中養護学校) |
| 4. 新宗教の人間観に関する一考察 | 松 井 圭 介 (筑 波 大) |
| 5. 新宗教と無意識の概念 | 島 菌 進 (東 大) |

9 月 15 日 (休) 午 後 (13 : 30 ~ 16 : 50)

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| 6. 風息のタオイスト覚鑿—秘密念仏思想についての—一考察— | 環 栄 賢 |
| 7. 泰山府君祭文 (地鎮祭文) のマンガラ | 八 田 幸 雄 (関 学 大) |
| 8. 新潟市の龍神信仰とシャーマニズム | 佐 藤 憲 昭 (駒 大) |
| 9. 民俗宗教から組織宗教へ—新後生の組織的考察— | 古 賀 和 則 (龍 大) |
| 10. 祖先祭祀・祖先観に関する社会学的考察 | 広 瀬 卓 爾 (仏 教 大) |
| 11. 「靈石信仰」形成のプロセス | 下 村 以 鎖 亞 |
| 12. 民間巫者における「修行の問題」 | 池 上 良 正 (弘 前 大) |
| 13. 靈断師の儀礼とその思想—神靈観を中心に— | 杉 井 純 一 (駒 大) ⊗ |
| 14. 修験道はどこから来たか (続) | 佐 久 間 光 昭 |
| 15. 験から道へ—大峰縁起を中心として | 宮 家 準 (慶 大) |

9 月 16 日 (金) 午 前 (9 : 30 ~ 11 : 30)

- | | |
|-------------------------------------|-------------------|
| 16. メキシコにおける日本宗教の土着と変容過程 | 大久保 雅 行 (九 州 大) ⊗ |
| 17. 「テーシン」の観念について—ソウルのムーダン「ソボサル」の事例 | 丹 羽 泉 (I C U) |
| 18. 韓国の新宗教 | 鳥 井 由 紀 子 (東 大) ⊗ |
| 19. 台湾における一貫道の近況 | 篠 原 寿 雄 (駒 大) |
| 20. 台湾クヴェラン族の祭祀集団と治病儀礼 | 清 水 純 (東 大) ⊗ |
| 21. 承天寺廣鉄老和尚一代記 | 岡 田 栄 照 |

9 月 16 日 (金) 午 後 (13 : 30 ~ 15 : 50)

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 22. 出石藩と座頭—その活躍と保護— | 菊 地 武 (大 谷 大) |
| 23. 観音の住处 | 川 上 光 代 (南 山 大) |
| 24. 補陀落渡海と法華経 | 根 井 浄 (神 戸 常 盤 短 大) |
| 25. ヤマとカワの場所性をめぐって | 斎 藤 卓 志 |
| 26. 諸宗教への一元的視座の構築・試論 | 酒 生 文 弥 (龍 大) |
| 27. 華嚴結社について—その思想的背景— | 張 愛 順 (仏 教 大) |
| 28. 在日巫俗をめぐるネットワークと「朝鮮寺」の動態 | 飯 田 剛 史 (富 山 大) |

第 10 部 会 (5 号 館 403 教 室)

9 月 15 日 (木) 午 前 (10 : 00 ~ 12 : 00)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------|
| 1. スリランカ、タミル漁村における憑依 | 田 中 雅 一 (京 大) |
| 2. ビルマの宗教構造理解への一視点 | 浜 田 哲 也 (東 大) |
| 3. 初期アメリカ・メソヂスト派の組織的展開について | 山 中 弘 (愛 知 学 院 大) |
| 4. 19世紀モルモン教の詩的言語・セクシュアリティ・親族構造 | 高 山 真 知 子 (南 イ リ ノ イ 大) |
| 5. ベトナム戦争とエバンジェリカル誌『クリスチャニティトゥデー』 | 木 村 英 憲 (愛 知 学 院 大) |
| 6. 北米における新新宗教の受容—崇教真光 LA 小道場の場合 | 武 田 道 生 (大 正 大) |

9 月 15 日 (木) 午 後 (13 : 30 ~ 17 : 10)

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------|
| 7. 陰と陽のシンボリズム—台湾・台南市の事例から— | 佐々木 宏 幹 (駒 大) ⊗ |
| 8. 幻覚性飲料とトランス—ブラジルの事例から— | 中 牧 弘 允 (国 立 民 族 学 博 物 館) ⊗ |
| 9. WCC の人種差別反対プログラムとブラジルにおける展開 | 荒 井 芳 廣 (神 奈 川 工 科 大) |
| 10. 自衛官合祀拒否訴訟の最高裁判決について | 村 上 重 良 (慶 大) |
| 11. ペレストロイカに見られる宗教の重要な歴史的本質について | 佐 木 秋 夫 |
| 12. 宗教と文化—日本のキリスト教徒と日本人一般との意識調査の結果 | テヴィッド・リード (東 京 神 学 大) |
| 13. ミッション・スクールの教職員の意識調査から—その 3— | 北 川 直 利 (聖 霊 女 短 大 付 属 高) |
| 14. 今日のイエズス会学校教育と価値観の教育 | 小 林 紀 由 (日 大) |
| 15. 都市の宗教・大阪梅田の宗教調査 1 | 村 上 興 匡 (東 大) |
| 16. 都市の宗教・大阪梅田の宗教調査 2 | 石 井 研 士 (文 化 庁 宗 務 課) |
| 17. 都市繁華街における「聖と俗」の分類 | 柳 川 啓 一 (国 学 院 大) |

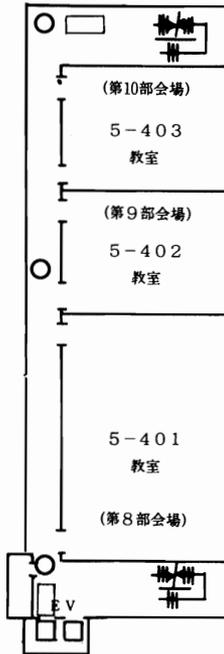
9 月 16 日 (金) 午 前 (9 : 30 ~ 11 : 50)

- | | |
|---------------------------------|---------------------------|
| 18. 現代の「流行神」の形成過程 | 鈴 木 岩 弓 (島 根 大) |
| 19. 近代日本における宗教間「協力」 | 梅 津 礼 司 (中 央 学 術 研 究 所) |
| 20. 都市祭礼における約縁集団と氏子集団—王子田楽を中心に— | 石 倉 孝 祐 (国 学 院 大) |
| 21. 真宗門徒の講組織について—北陸地方におけるその動態— | 本 林 靖 久 (大 谷 大) |
| 22. 三陸沿岸漁村における漁業集団と「おこもり」行事 | 佐 島 隆 (東 北 大) |
| 23. 三重県北部における仏教の展開 I | 竹 内 堅 丈 (愛 知 学 院 大) |
| 24. 三重県北部における仏教の展開 II | 佐 藤 悦 成 (愛 知 学 院 短 大) |

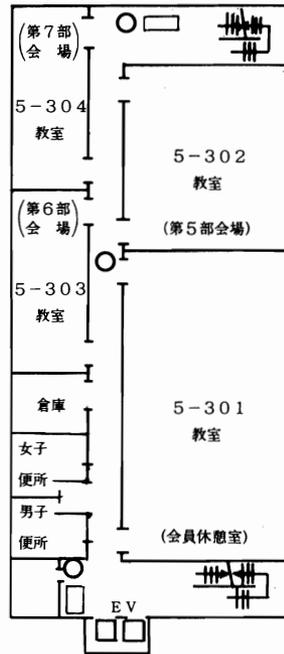
9 月 16 日 (金) 午 後 (13 : 30 ~ 15 : 30)

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| 25. ある回教論の比較考察—山本良吉と宝山良雄の場合— | 松 本 皓 一 (駒 大) |
| 26. トラホムルコのハヤカーテ、コンパドラスゴとエヒード | 野 村 暢 清 (久 留 米 大) ⊗ |
| 27. セバスチアン兄弟團の泉の習俗 | 植 田 重 雄 (早 大) ⊗ |
| 28. 意識調査から見た「危機」と「観無常」 | 深 瀬 俊 路 (曹 洞 宗 教 化 研 修 所) |
| 29. デス・エデュケーションと宗教教育 (2) | 西 田 隆 男 (自 由 の 森 学 園) |
| 30. 作務について—考察—禅林学校の教育理念として— | 荒 川 元 暉 (正 眼 短 大) |

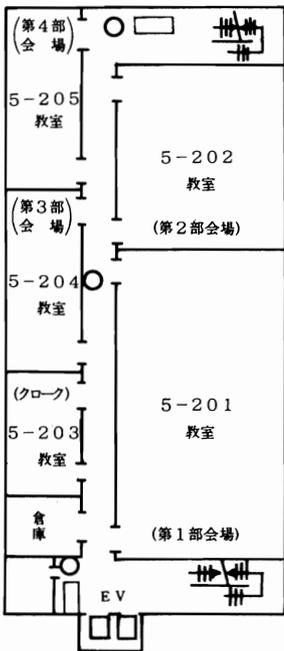
研究発表会場案内



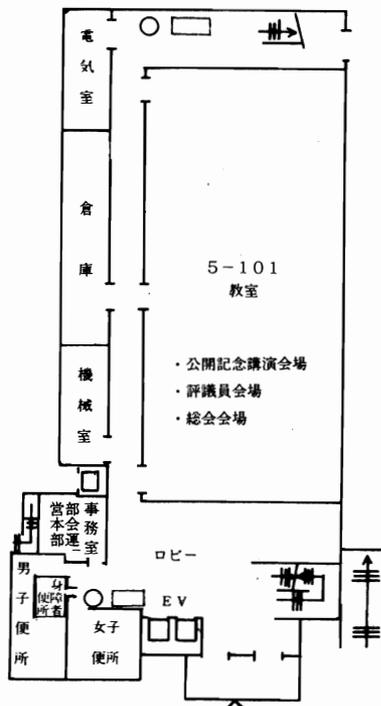
(4階)



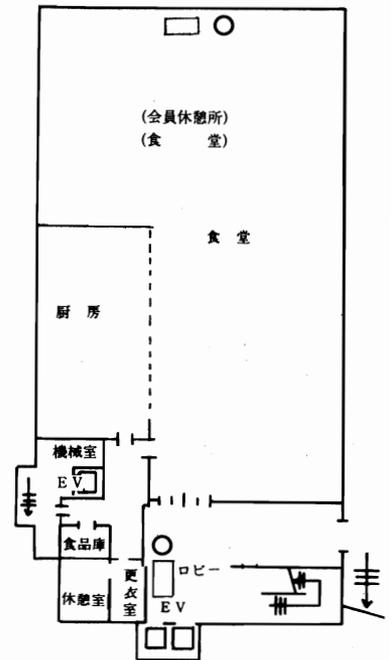
(3階)



(2階)



(1階)



(地階)

大学建物配置図



(5) 5号館
学会会場

北グランド

民家
体育器具庫

北門

道路

南木ノ畑町バス停



(3) 3号館

(8) 第一鹿溪館

(9) 第二鹿溪館

駐車場(二輪)

(2) 2号館

中庭

(4) 4号館

南木ノ畑町バス停

千本通り

道路

(1) 1号館
学会受付

(7) 鷹陵館
ロビー

前庭

喫茶

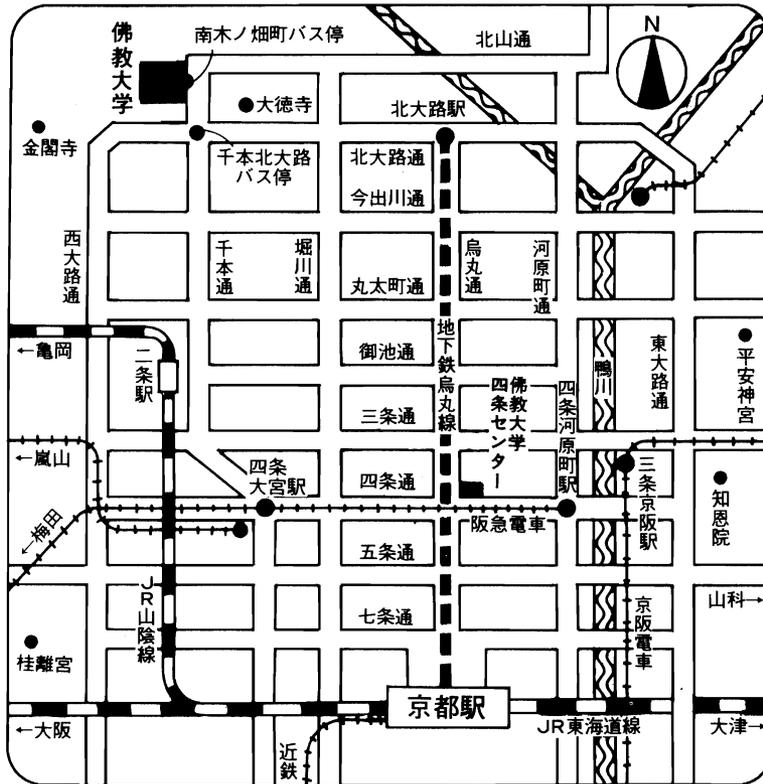
(6) 図書館

ガレージ

(順路)

正門

道路



*** 大学への交通機関 ***

- JR 京都駅より
 - 地下鉄〔所要 13分〕 北大路駅 (終点)
 - 市バス〔所要 35分〕 玄琢行⑥ (南木ノ畑町下車)
- 地下鉄北大路駅より ● 市バス〔所要 10分〕
 - 西賀茂車庫行①・玄琢行 (北1) (南木ノ畑町下車)
 - 錦林車庫行②④・九条車庫行③⑤ (千本北大路下車)
 - 千本通京都駅前行⑦ (千本北大路下車)
- 阪急四条大宮駅・国鉄二条駅より
 - 市バス〔所要 20分〕
 - 玄琢行⑥・上賀茂神社前行④⑧ (南木ノ畑町下車)
 - 深泥池行⑥⑩ (南木ノ畑町下車) ・高野行⑨ (千本北大路下車)
- 京阪三条駅より ● 市バス〔所要 25分〕
 - 西賀茂車庫行① (南木ノ畑町下車) ・衣笠行⑫・宇多野・山越行⑨⑪ (千本北大路下車)

○千本北大路下車 北へ徒歩3分
 ○南木ノ畑町下車 すぐ
 [市バス最寄り駅で大学案内が放送されます]